

西ケープ州治安情報

【2023年4月～6月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 邦人の渡航者が増加しており、それに伴いケープタウン中心部を中心に邦人の犯罪被害件数も増加。特に ATM 詐欺被害が多く報告された。(以下 2 参照)
- (2) ギャングに関連した銃撃事件等の発生状況は継続して劣悪な状況。(以下 3 (1) 参照)
- (3) オンラインの個人間売買 (Facebook Marketplace など) を利用した強盗手口が増加。(以下 3 (2) 参照)

2 邦人被害情報

在ケープタウン領事事務所管轄地域 (西ケープ州) の 2023 年 4 月～6 月における邦人に対する被害の報告件数は 8 件であった。(【】内は地域名)

- (1) 【 Bo-Kaap 】 4 月 8 日、滞在先の自宅前に路上駐車していたところ車上狙いの被害に遭った。駐車中の車内に放置物等はなかったが、窓が割られたうえ、備え付けのカーオーディオ機器を配線ごと盗まれた。
- (2) 【 Strand 】 4 月 20 日 18 時頃、スーパーマーケット Pick n Pay 内の ATM を操作しようとしたところ、普段と異なる画面になりカードを挿入できなかった。隣にいた男が ATM 操作を手伝ってきたがそのままカードは戻ってこず、男が隙をみて搾取したものと思われる。その後約 200 万円が不正に送金、引き出されていた。
- (3) 【 Pinelands 】 4 月 23 日 11 時頃、当地銀行 Standard Bank の支店で、上述(2)と同様の手口で数十万円の被害があった。当該銀行の支店は、平日であれば警備員が配置されているが、被害発生当時は週末であったため警備員が配置されていなかった。
- (4) 【 Cape Town CBD(Central Business District 以下同) 】 4 月 25 日 17 時頃、Buitengracht Street を歩行中、警備員らしき制服を着用した男から、通行許可証が必要である旨を執拗に要求された。案内に応じ Adderley Street の MyCiTi バスステーションの発券機に合計 2 枚のクレジットカードを挿入するも通行許可証は発給されず、男らは気付かないうちに立ち去っていた。直ちにクレジットカードを利用停止するも数十万円が不正利用された。
- (5) 【 Cape Town CBD 】 5 月 16 日 19 時以降、中心部にある有料駐車場 (Riebeeck Square Parking Lot Cape Town CBD) に駐車していたところ車上狙いの被害に遭った。窓ガラスの破損、ドアのこじ開け形跡はなく、トランクに積載していたノートパソコンや iPad が盗難にあったもの。ジャミング (リモートキーの電波を妨害し無効にする手口) による犯行と思われる。

- (6) 【 Cape Town CBD 】 6月3日 17時頃、Green Market 周辺の飲食店で食事をしてたところ、白人の男3名に声を掛けられた。飲食を共にした後 Long Street のバーへ移動し、バーで3杯ほどアルコールドリンクを摂取したところ、急に具合が悪くなり酩酊、吐き気、腹痛を催した。不安になった邦人が1人で帰宅しようとするも、男が邦人の滞在先までついてきたため断り切れず部屋に上がらせてしまい、邦人がトイレで嘔吐等を繰り返している内に、男は部屋内の金品を奪い逃走した。その後異変に気付いた滞在先の警備員の通報で駆け付けた警察に男は逮捕された。バーで邦人が飲んだドリンクは、白人の男が注文して席まで運んで来たものであり、この間に薬物等を混入された可能性がある。
- (7) 【 Cape Town CBD 】 6月13日 14時頃、Longmarket Street を歩行中、邦人は上着のポケットにスマートフォンを入れていたが、路上で手元のバッグの中身を確認している際に、スマートフォンをポケットから抜き取られた。本人は、これに気付かず現場を目撃した周囲の人間に教えられたが、犯人はそのまま逃走した。
- (8) 【 Bo-Kaap 】 6月20日 17時頃、酒類販売店で買い物をして店を出たところ、路上の男から、酒類を持って公道を通行するには許可証が必要である旨指摘された。その場には同酒類販売店のレジ袋を持った女がおり、同女も許可証を邦人と一緒に購入するため同行するよう男から指示され、邦人は100m程離れた屋内駐車場と思われる場所の発券機へ案内された。その後同行した女や男らに操作方法を案内されクレジットカードを挿入、暗証番号を入力したが発券されず、また、クレジットカードは発券機から戻ってこず、男らは気付かないうちに立ち去っていた。男らが隙をみてクレジットカードを搾取したと思われる。

3 凶悪事件等の発生情報 ※主要な事件を抜粋 (【】内は地域名)

- (1) 殺人
- ア 【 Ocean-view 】 4月12日 11時頃、ギャングが住宅に押し入り銃を乱射し6名が死亡した。
- イ 【 Nyanga 】 5月18日 14時頃、警察官含む3名の男性が乗車する車両が、武装した男2名に襲撃され全員死亡した。
- ウ 【 Constantia 】 5月25日 8時頃、高級住宅街の家屋が襲撃され男性2名、女性2名が死亡した。犯人らは敷地の正面ゲートを堂々と破壊し襲撃。被害者はギャングと繋がりがあつたとされている。
- エ 【 Manenberg 】 5月31日 19時頃、ギャングによるドライブバイシューティング（走行中の車両から銃器を発砲する手口）が立て続けに2件発生し、男性4名死亡、2名が重傷を負った。
- オ 【 Samora Machel, Mitchells Plain 】 6月15日に Samora Machel でギャングによるドライブバイシューティングが発生し3名が死亡。翌日、この報復として隣接する Mitchells Plain の住宅で銃撃があり更に3名死亡、2名が重傷を負った。

(2) 強盗

- ア 【 Bo-Kaap 】 4 月 8 日の日中、観光客の韓国人女性が Chiappini Street と Shortmarket Street の交差点付近を自撮りしながら歩行中、突然後ろから首を絞めて犯行に及び羽交い締め強盗の被害に遭った。悲鳴をあげたところ、近隣住人が気付いたため犯人は逃走した。
- イ 【 全地域 】 オンラインの個人間売買（Facebook Marketplace など）を利用した強盗手口が増加している。強盗犯が買い手、売り手になりすまし、物品の引き渡し場所に訪れた利用者を武装して襲う手口。当初は Nyanga 等の特定の地域で見られたが、最近は様々な地域で被害報告が相次いでおり件数も急増している。

4 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

在留邦人やたびレジ登録者に対し、安全対策情報を発信した。

(2) 治安機関への要請

治安機関に対し、邦人被害事件の捜査推進依頼と、犯罪ホットスポットの警ら強化を要請した。

(3) 語学留学生に対する治安ブリーフィングの実施

当地語学学校と連携し、新たに入学した邦人に対し、治安に関する個別ブリーフィングを実施した。

(4) 西ケープ州政府との協議

特に短期渡航者、観光客の被害防止策について西ケープ州政府と協議中。